

造園伝統技術の継承と開発のための国際的教育活動 2026

今年度も造園科学科 100 周年記念事業の一環である「造園伝統技術の継承と開発のための国際的教育活動」として、四ツ目垣制作研修を開講致します。

近年、世界的にもレベルの高い日本の技術力の低下が危惧されており、造園の分野も例外ではありません。経済発展などに伴う社会情勢の変化により、長く培われてきた伝統技術の衰退が際立ちます。技術力の低下は技術継承者の人材不足に伴うものでもあり、また相互の負のスパイラルが起きてしまっています。

本活動の目的は、国際レベルの造園伝統技術の継承と人材づくりだけでなく、伝統技術に戻り、技術開発の新しい発想に資することにもあります。また、産官学の連携によって公共団体及び民間会社のもつ伝統技術の公開、継承、次世代社員教育、学生の修学・就職意欲への働きかけにもなります。

受講対象は、学生及び社会人（他機関を含む）となっています。多くのご参加をお待ちしております。

2026 年 6 月 10 日

東京農業大学地域環境科学部造園科学科長 水庭千鶴子

(担当 : 鈴木貢次郎/栗野隆/金澤弓子/田中聡/中島宏昭 /内藤啓太)

四ツ目垣制作研修（社会人）

1. 日時・内容

7月29日（水）9：00-12：00, 7月30日（木）9：00-17：00

29日（水）は、道具の使い方や結束の練習を行います。30日（木）は、四ツ目垣制作実習になります。

30日のみの参加も可能です。

2. 場所

東京農業大学世田谷キャンパス

3. 講師

笹原晋平氏（オイコス庭園計画研究所）2026年度龍居賞受賞

4. 参加費

2日間, 1日のみのいずれの参加でも 10,000 円

5. 参加・申し込み方法

（株）農大サポートホームページを通して受付, 6月下旬募集開始, 7月17日
〆切切り予定

6. 注意事項

- ・規模や学生の参加もあるため, 社会人の方々の募集人数は最大で20人程度を予定しております。状況によって, 〆切を早める場合があることをご承知おきください。
- ・少雨決行（中止の際はメールにて連絡予定）。
- ・材料費や講師指導手当などの一部は100周年記念募金から補助されます。
- ・ケガなどの保険につきましては, 対象外となり, 一切の責任を負いかねますので, 各自で, ご加入下さい。
- ・集合場所等の詳細についての連絡は, 基本的にメールで行います。

7. 担当連絡先

鈴木貢次郎（東京農業大学造園科学科造園植物・樹芸学研究室）kojiros@nodai.ac.jp

中島宏昭（東京農業大学造園科学科緑化植栽学研究室） hn208204@nodai.ac.jp